

四国歯学会雑誌

第 3 卷 第 1 号

(平成 2 年 2 月 10 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 3 (FEBRUARY 1990) NUMBER 1

総 説

骨代謝にかかわる細胞の生理的機能……………住谷 光治, 河田 照茂…… 1

原 著

骨誘導因子の筋肉内移植における異所性骨形成機序について……………岡本 康生…… 7

脂腺細胞の表現形質をもった上皮系腫瘍細胞の確立と生物学的特性……………宮本 和典…… 23

造腫瘍性ヒト唾液腺介在部導管上皮細胞より分化

誘導した筋上皮細胞および腺房細胞の表現形質と

増殖に及ぼすジブチリル cAMP の影響……………川又 均…… 41

ヒト神経芽腫細胞を用いた単純ヘルペス

ウイルス 2 型 in vitro 潜伏感染モデルにおける

ウイルス再活性化に及ぼす Hexamethylene

Bisacetamide とシクロスポリン A の影響……………近藤 康夫…… 71

造腫瘍性ヒト唾液腺介在部導管細胞と

その派生細胞における神経細胞の表現形質の

発現と単純ヘルペスウイルス 1 型の増殖動態……………伊賀 弘起…… 89

ヒト唾液腺由来腫瘍細胞の増殖と分化に及ぼす

上皮増殖因子の影響……………アル アディブ ワリド…… 113

破骨細胞の形成に対する骨芽細胞株 MC3T3-E1 細胞の作用……………日浦 賢治…… 133

Bacteroides gingivalis の血清学的性状と分類……………永田 篤司…… 149

低カルシウム食飼育成長期ラットにおける

下顎頭軟骨の組織学的研究……………松本 文博…… 161

Bacteroides gingivalis 381 株のトリブシン

様プロテアーゼ遺伝子のクローニング……………片岡 正俊…… 179

ウェットテクニックによる寒天印象法の紹介

— 気泡の発生状況について —

……………羽田 勝, 浜口 宏治, 前田 昌巳, 多田 芳雄, 井上三四郎…… 191

四国歯学会会務報告

◎第7回総会報告

第7回総会が昭和63年6月25日(土)13時より歯学部大講義室で開催され、高田理事を議長に選出し、以下の報告並びに議事の審査が行われた。

A. 報告事項

1) 庶務報告

○四国歯学会登録会員数(昭和63年5月31日現在)

会員総数 474 (内訳: 名誉会員 2, 一般会員 446, 賛助会員 26)

○松本会長が第4期運営委員(任期: 昭和63年4月1日より2年間)を選出した。庶務: 井上理事, 中條評議員。会計: 内田理事, 青山評議員。学術: 福井理事, 太田評議員。編集: 佐藤(委員長), 河田, 高木, 西野の各理事, 吉田秀夫評議員。

○四国歯学会雑誌に学術刊行の指定をうける件: 本件について郵政省郵務局企画課法規係と交渉中であるとの報告がなされた。

2) 会計報告および監査報告

昭和62年度会計報告(Cに別掲)が行われ、監査の結果、適正であると報告された。

3) 学術報告

第11回例会と63年度夏季講演会の予定について報告された。

B. 議 事

○昭和63年度予算案の承認の件: 会計担当運営委員より昭和63年度予算案(次項)が提示され、承認された。

○監事選出の件: 若野理事と川田雄祥徳島県歯科医師会副会長が選出された。

C. 会計報告および予算案

1) 昭和62年度会計報告

収 入

	決算高	予算高	増減
繰越金	4,126,787	4,126,878	0
入会金	36,000	25,000	+11,000
62年度会費	1,226,000	1,120,000	+106,000
62年度賛助会費	275,000	350,000	-75,000
論文掲載料	0	700,000	-70,000
広告掲載料	275,000	0	+275,000
雑収入	12,585	100,000	-87,415
計	5,951,372	6,421,787	-470,415

支 出

	決算高	予算高	増減
学会開催費	21,500	200,000	-178,500
会誌発刊費	1,300,000	1,300,000	0
会誌送料	87,750	300,000	-212,250
通信費	86,320	150,000	-63,680
事務費	70,500	50,000	+20,500
備品費	0	200,000	-200,000
雑費	18,000	100,000	-82,000
予備費	4,367,302	4,121,787	+245,515
計	5,951,372	6,421,787	-470,415

2) 昭和63年度予算案

収 入

前年度よりの繰越金	4,367,302
入会金	40,000
本年度会費	1,312,000
過年度会費	408,000
賛助会費	550,000
論文掲載料	1,796,000
広告掲載料	275,000
雑収入	15,000
計	8,763,302

支 出

学会開催費	100,000
会誌発刊費	1,400,000
会誌発送費	100,000
通信連絡費	150,000
事務費	100,000
備品費	300,000
予備費	100,000
次年度繰越金	6,513,302
計	8,763,302

◎第8回総会報告

第8回総会が平成元年6月24日(土)13時より開催され、議長に井上理事を選出し、会務報告および議事の審議が行われた。

A. 報告事項

1) 庶務報告(井上理事)

○登録会員数(平成元年5月31日現在)

会員総数531(内訳: 名誉会員1, 一般会員506, 賛助会員204)

○内田昭次会計担当運営委員の死去のため、後任として坂東理事と中野評議員が選出された(任期は平成2年3月31日迄)。

○若野洋一理事が会長に就任した(任期平成元年4月1日より2年間)。

○機関紙（四国歯学会雑誌）に学術刊行物の指定をうける件：本懸案について第32回（4月27日）、第33回（5月11日）、第34回（5月25日）理事会で審議した結果、次の理由で本件を当分の間見送ることとなった。1）指定をうける最大の利点は機関紙郵送料の低減であるが、この額は昭和63年度では総支出の2.6%に過ぎない。2）指定をうけるには郵政省の指示により会則、特に役員選出方法を大巾に変更しなければならない。

2）会計報告（坂東理事）および監査報告（若野および川田監事）

昭和63年度会計報告が行われ、監事より監査の結果が適正であると報告された（Cに別掲）。

3）学術報告（福井理事）

第12回四国歯学会例会と平成元年度夏期講演会の予定について報告された。

B. 議事

1）平成元年度予算案の承認を求める件：会計担当運営委員（坂東理事）より平成元年度予算案（次項）が提示され、承認された。

2）監事選出の件：若野監事の会長就任により欠員となった監事に河田照茂理事が選出された（任期は平成2年3月31日迄）。

C. 会計報告および予算案

1）昭和63年度会計報告

収 入

	決算高	予算高	増減
繰越金	4,367,302	4,367,302	0
入会金	98,000	40,000	+44,000
63年度会費	1,424,000	1,312,000	+112,000
過年度会費	272,000	408,000	-136,000
63年度賛助会費	125,000	550,000	-425,000
論文掲載料	1,089,800	1,796,000	-706,200
広告掲載料	270,000	275,000	-5,000
雑収入	335,208	15,000	+320,208
計	7,981,310	8,763,302	-781,992

支 出

	決算高	予算高	増減
学会開催費	5,500	100,000	-94,500
会誌発刊費	1,575,400	1,400,000	+175,400
会誌送料	103,750	100,000	+3,750
通信費	45,535	150,000	-104,465
事務費	95,565	100,000	-4,435
備品費	483,000	300,000	+183,000
雑費	0	100,000	-100,000
予備費	5,672,560	6,513,302	-840,742
計	7,981,310	8,763,302	-781,992

2）平成元年度予算案

収 入

前年度よりの繰越金	5,672,560
入会金	55,000
本年度会費	1,763,200
過年度会費	330,000
賛助会費	425,000
論文掲載料	1,279,500
広告掲載料	230,000
雑収入	20,000
計	9,775,260

支 出

学会開催費	200,000
会誌発刊費	1,650,000
会誌送費	150,000
通信連絡費	150,000
事務費	120,000
備品費	500,000
名簿作成費	200,000
予備費	100,000
次年度繰越金	6,705,260
計	9,775,260

◎第12回四国歯学会例会、平成元年度日本補綴歯科学会中国四国支部学会（協賛）について

○第12回四国歯学会例会は平成元年6月24日（土）に開催され、林良夫病理学講座教授による「唾液腺自己免疫の病理」と題する特別講演並びに一般演題6題が講演された。

○平成元年度日本補綴歯科学会中国四国支部学会（松本直之会長、徳島）の協賛について
例年の徳島県歯科医師会との合同夏期講演会については、上記学会開催日、平成元年8月27日（日）と重複し、他日に開催が不可能なので四国歯学会は本学会に協賛することとした。

第12回四国歯学会例会 記 録

河田 照茂
徳島大学歯学部歯科矯正学講座

プログラム

日 時 平成元年6月24日(土)(13:30~16:00)
会 場 徳島大学歯学部大講義室(4階)

就任講演

唾液腺自己免疫の病理

林 良夫

徳島大学歯学部口腔病理学講座

一般講演

1. 陶材インレーを1回で焼成するための基礎的検討

○今 政幸, 桑山 則彦

徳島大学歯学部歯科理工学講座

2. 患者検体値から求めた年齢別, 性別の正常値

西田 敏信

徳島大学歯学部附属病院 臨床検査室

3. 小児の歯科診療時の協力性に関する研究

○原田 桂子, 中川 弘

鎌田 浩二, 木内 晶子

菊地 賢司, 有田 憲司

西野 瑞穂, 鈴木 敏昭

高梨 一彦, 佐々木保行

徳島大学歯学部小児歯科学講座

4. データベースを用いた地域歯科保健管理

○阿部 敬典, 阿部 典子

三木 真弓, 宮本 幸子

寶田 貫, 加藤 邦子

菊地 賢司, 有田 憲司

西野 瑞穂

徳島大学歯学部小児歯科学講座

5. 破骨細胞形成過程における骨芽細胞の影響

○日浦 賢治, 住谷 光治

楠田 倫紀, 河田 照茂

徳島大学歯学部歯科矯正学講座

6. 矯正治療と T. M. J.

— 反対咬合者の顎態評価 —

○楠田 倫紀, 曾 鴻哲

弘田 克彦, 山口 和憲